

一般社団法人福岡市医師会
定例記者会見

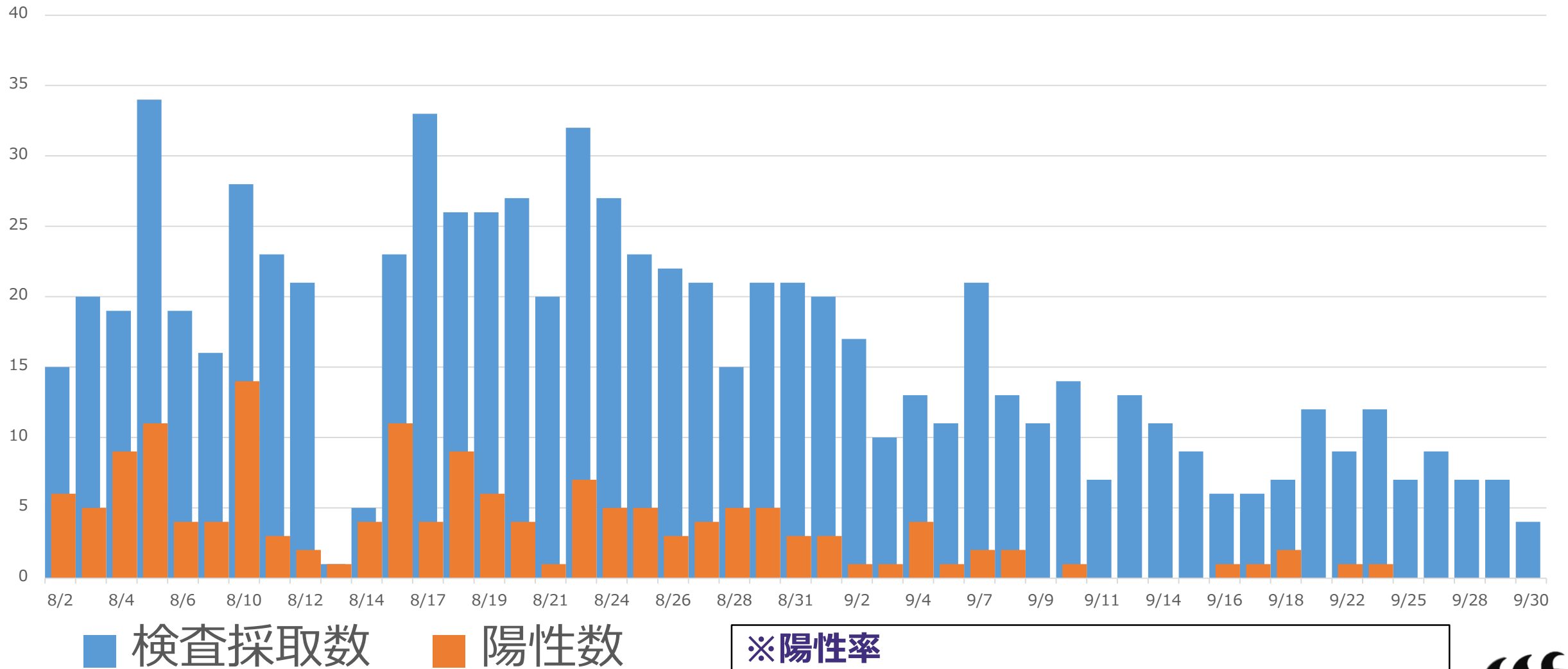
令和3年10月6日(水)13時30分

福岡市医師会 常任理事 中山 英樹

一般社団法人 **福岡市医師会**



1. 検体採取数と陽性数（福岡市医師会診療所） （令和3年8月～9月）



■ 検査採取数 ■ 陽性数

12,956件 **1,144件**
（令和2年5月～令和3年9月30日まで）

※陽性率
 令和2年5月～令和3年9月30日まで 8.8%
 令和3年8月 25.1%
 令和3年9月 8.2%



2. 新型コロナウイルスワクチン接種事業

接種場所	接種実績
①個別接種（地域のクリニック850箇所） ※10月3日以降は12～15歳への接種のみ	約126万回
②集団接種 <ul style="list-style-type: none">・中央ふ頭クルーズセンター・各区公共施設等計7箇所 ※延べ3,808名の医師が出動（R3/6/1～9/30） ・KITTE博多（10月1日より追加）	約63万回
③高齢者施設への出張接種（希望施設での接種完了）	約6万回

R3/9/30 現在



3. 新型コロナウイルスワクチン接種事業

<小児へのワクチン接種体制>

○12歳から15歳の接種実施医療機関を募集
(市内約200医療機関が登録)

接種実績 22,451回 (接種率 15.7%)

※個別接種+集団接種

接種実績 47,765回 (接種率 33.4%)

R3/9/30現在



4. 小児への対応

新型コロナウイルス感染症のお子様と一緒に自宅療養されるみなさまへ

新型コロナウイルス感染のお子さんで注意すべき8の観察ポイント



あやしても機嫌が悪い



飲み食いがほとんどできない
ミルクや母乳がのめない



活気がない
ぐったりしている



高熱が3日以上続く



3か月未満の赤ちゃんで
38℃以上の発熱がある



顔色がわるい



息が苦しそう



繰り返し吐く

上のような症状があるときは、担当保健所、
またはかかりつけ医に早めに相談してください



<新型コロナウイルス感染のお子さんで注意すべき8つの観察ポイント>

- ①あやしても機嫌が悪い
- ②飲み食いがほとんどできない
ミルクや母乳がのめない
- ③活気がない・ぐったりしている
- ④高熱が3日以上続く
- ⑤3か月未満の赤ちゃんで
38度以上の発熱がある
- ⑥顔色がわるい
- ⑦息が苦しそう
- ⑧繰り返し吐く

※福岡地区小児科勤務医会 作成



5. 自宅療養支援体制

<自宅療養者への診療開始>

○第5波で自宅待機者が急増し、保健所業務が逼迫
自宅での症状悪化や死亡例の発生が危惧

→体制構築を進めていた

自宅療養者への診療開始

(令和3年8月11日)



6. 自宅療養支援体制等

＜自宅療養者への診療開始＞

○市内約300医療機関が登録

327件対応（8月11日～10月4日保健所報告数）

電話や情報通信機器を用いた診療等について



7. 抗体カクテル療法（ロナプリーブ）

<中和抗体薬の投与（抗体カクテル療法）>

- 福岡市内の宿泊療養施設で
抗体カクテル療法を開始（令和3年8月16日）
- 重症化リスク因子を有する軽症患者の
重症化を予防



8. 抗体カクテル療法（ロナプリーブ）

<中和抗体薬の投与（抗体カクテル療法）>

- 早期に治療することでより高い効果が得られる（症状発現から7日以内）
- 医療機関はPCR検査等実施時、患者に**ロナプリーブ投与の希望の有無を確認し、保健所に報告**



9. 薬局での医療用抗原検査キットの取扱いについて

<医療用抗原検査キットの使用にあたって>

- 無症状者への使用は推奨されていない
- 陰性の場合でも偽陰性の可能性を考慮

体調が悪いと自覚した際、まずは医療機関を受診してください

また、陽性の場合には速やかに医療機関を受診してください

※厚生労働省事務連絡（令和3年9月27日）より

